

第96回全国高校野球和歌山大会

目指せ甲子園

紀南10校の横顔(敬称略)

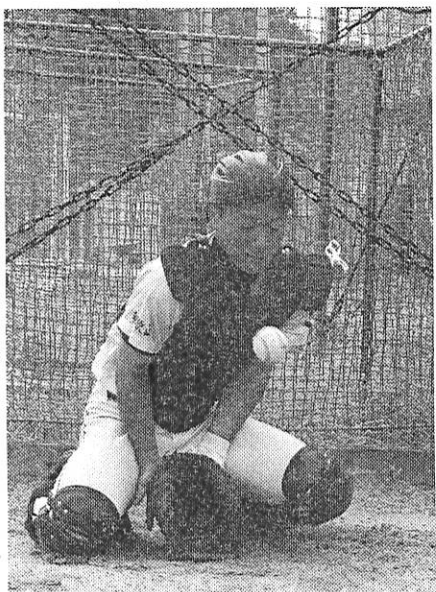
①

第96回全国高校野球選手権大会和歌山大会は7月11日、和歌山市の紀三井寺球場で開幕する。紀南の高校もシード田辺や昨年準優勝の南部など楽しみなチームが多い。「夢舞台甲子園」を目指す紀南10校を紹介する。(順不同、表のメンバーは入れ替わることもあります)

【熊野】

守り勝つ野球で初戦突破

吉田茂監督が掲げるのは、的確な状況判断や先のプレーを予測して対応する「準備のできる野球」。選手個々が役割を理解し、全員で勝つという意識が強くなった。チームカラーは守り勝つ野球で、捕手・安達(主将)、



確実な捕球の練習を繰り返す安達

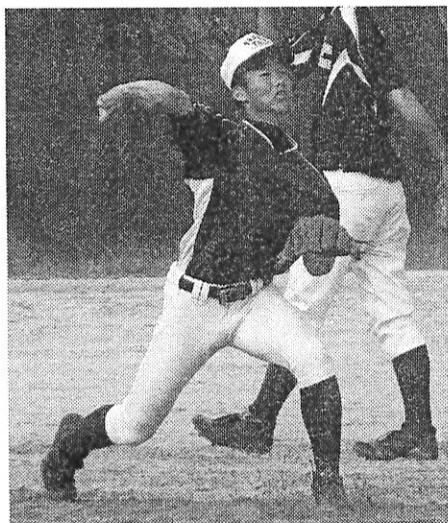
部	長	新	野	浩	孝
監	督	吉	田	田	茂
選	手	名	字	年	出
					身
1	青木	健太	③	大	塔笠
2	安達	康介	②	衣	笠
3	吉川	優樹	②	上	富田
4	井出	紘希	②	上	南部
5	武田	祥太	③	中	辺路
6	荒深	武史	②	中	辺路
7	杉浦	翔万	③	新	庄
8	黍野	迅記	③	上	秋津
9	林大	志也	②	上	南部
10	坂本	公志	②	衣	笠
11	新宅	優也	②	上	富田
12	新線	二朗	②	高	雄
13	富貴	公大	②	南	部
14	白瀧	響	②	上	富田
15	鈴木	将益	②	高	雄
16	音無	禎樹	②	東	陽
17	久保	光大	①	本	宮
18	湯川	晃希	①	大	塔
19	岩本	貴行	①	大	衣
20	矢野	真尋	①	上	富田

安達には長打も期待される。そのためにも1番の野の出塁が鍵となる。吉田茂監督の話 初戦敗退が続いており、今年は取りたい。その手応えは十分感じている。どんな状況の中でも全員が仲間の声を聞き、冷静に戦えば必ず結果はついてくる。

【田辺工業】 機動力野球で活路見いだす

秋の新チーム結成以降、競り負ける試合が多かった。ため、日頃からプレッシャ

部	長	稲	垣	友	輔
監	督	山	本	和	宏
選	手	名	字	年	出
					身
1	松本	康平	③	上	南部
2	島中	一成	②	新	庄
3	有木	拓未	③	東	陽
4	那須	悠哉	②	中	富
5	大谷	和幸	②	中	富
6	小田	口駿	②	清	川
7	小田	田涉	③	中	芳
8	檜山	山真	③	上	南
9	小池	知雅	③	高	明
10	小川	西雅	③	高	城
11	氏川	拓真	③	高	城
12	谷本	喜希	③	中	芳
13	杉山	山信	②	中	富
14	湯川	信哉	②	上	富
15	柴田	陽平	②	上	富
16	大江	裕太	②	中	芳
17	中瀬	直和	②	上	南
18	前田	直哉	②	明	洋
19	岡田	田涉	②	大	塔
20	田上	諒介	①	上	富田



守備範囲が広い強肩の遊撃手・谷口は攻守の要

接戦でも結果が出るようになった。主戦投手は、マウンド経験が豊富で計算できる右腕の松本。試合の流れによっては那須の起用もある。野手は秋から故障者が多かったが、その分新しい戦力が台頭した。守備の要は主将で遊撃の谷口と中堅の檜山。攻撃面では走れる選手が多いため、バントを多用するなど機動力を多用する。打線は谷口が4番に座る。鍵を握るのは、1〜3番のいずれかに入る有木と下位で勝負強い大和だ。

山本和宏監督

まずは1勝。一つ勝てば波に乗っていきける。ナインも何とかしようという気持ちで練習の中で強く感じられる。